

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	4MF-2402
研究課題名	小笠原諸島西之島における大陸地殻の形成過程：プレート沈み込みの開始から衝突帯における大陸生成までのシナリオ
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	海洋研究開発機構
研究代表者名	田村芳彦

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

本課題から導かれている成果は、小笠原諸島が世界自然遺産の評価基準(viii)にもとづいて再登録されるための科学的なエビデンスを示すという科学的な根拠として高く評価できる。また、目標としている「ボニナイトを産する父島は海洋地殻であり、西之島などの島弧火山が大陸地殻となる安山岩を生み出す」という仮説を包括的なレビューとエビデンスに基づき科学的コンセンサスを得ることは、世界自然遺産の評価基準 viii に基づく小笠原諸島の自然の再評価にむけて重要なステップといえる。概ね、計画どおりに研究は進展していると評価するが、成果の発信については、その多くは、国内向けの口頭・ポスター発表であり、今後、国際的な発信を目指して成果を公表し、提案している「仮説」への国際的なコンセンサスが得られるよう努力を続けてほしい。